

InfoTrace-OnDemandTM
Version3.2
サービスに関する確認事項

■目次

1.サービスにおける注意事項	3
1-1. サービスのご利用について	3
1-2. 動作要件	3
1-3. 本サービスと eCare-OnDemandV3.2 を同時にご利用される場合の注意事項	4
1-4. インターネット経路についての注意	4
1-5. 操作ログの管理	5
1-6. お申込内容、サービスの追加・変更・削除について	5
1-7. PC の時刻合わせ	5
2.制約事項.....	6
3.注意事項.....	10
4.改善項目	12
5.変更項目	20
6.新機能.....	21

本書では、InfoTrace-OnDemand(以下「本サービス」)を実施するための確認事項を記載しています。サービスをご利用する前に必ずご確認ください。

1. サービスにおける注意事項

1-1. サービスのご利用について

本サービスはインターネットを使用して提供するサービスです。
 サービスご利用時にインストールしていただくソフトウェア(以下、InfoTrace Agent)は、本サービスのWEB サイトよりダウンロードし、お客様にてインストール作業を実施してください。
 ご利用最低期間は、ご利用開始日の翌月1日より、3ヵ月間です。

1-2. 動作要件

本サービスで提供する InfoTrace Agent は、以下の OS およびディスク容量で動作します。

■ サポート OS

OS	エディション	32ビット	64ビット
Windows Vista	Home Basic		Service Pack 2
	Home Premium		
	Business		
	Enterprise		
	Ultimate		
Windows 7	Home Premium		Service Pack 1
	Professional		
	Enterprise		
	Ultimate		
Windows 8.1	エディションなし		Service Pack なし
	Pro		
	Enterprise		

※日本語版のみサポート対象となります。
 ※上記に記載されている OS を Microsoft がサポートを終了した場合、本サービス上においてもサポート対象外となります

■ ディスク容量

270MB 以上の空き(インストールに必要な空き容量)

■ OS ディスクイメージのコピー展開(重要)

OS のディスクイメージをコピーして多数のクライアントを展開する方法がありますが、本サービスの Agent にこの方法は適用できません。

本サービスの Agent にはコンピュータ単位で一意に設定されたデータがあり、単純にコピーするとそのデータが衝突して正常な情報の取得ができません。

OS のディスクイメージでコピー展開する場合は、担当営業またはオンデマンド事務局までお問い合わせください。コピー展開に対応したインストーラを別途提供いたします。

■ OS のアップグレード

本サービスの Agent がインストールされた PC の OS のアップグレード(Vista から 7 のような)をする場合は、必ず Agent をアンインストールした状態で行ってください。

1-3. 本サービスと eCare-OnDemandV3.2 を同時にご利用される場合の注意事項

標準提供のインストーラは、InfoTrace-OnDemandV3.2 と eCare-OnDemandV3.2 に必要なエージェント 2 つを同時にインストールします。

この為、以下の制限が発生しますのでご注意ください。

- ・InfoTrace-OnDemand の対応 OS でない Windows Server 2008 などのサーバーOS では、標準提供のインストーラを使用することができません。
- ・単一のコンピュータでどちらか一方のサービスを利用する場合は、標準提供のインストーラを使用することができません。

以上の場合、InfoTrace-OnDemandV3.2、eCare-OnDemandV3.2 それぞれ専用のインストーラを提供致しますので、弊社までご連絡ください。

1-4. インターネット経路についての注意

本サービスを開始していただくためには、お客様のPCからインターネットへ向けて、以下の通信が可能である必要があります。

TCP/443 (Webレポート閲覧用)
TCP/19982 (ログ送信用)
TCP/24556 (制御オプション用)※1

※1 制御オプションサービスをお申し込みいただいている場合に必要です。

【プロキシサーバー経由での通信の場合】

お客様の PC からプロキシ経由で上記 TCP/19982、TCP/24556 の通信をする場合は、インストーラにプロキシサーバーの IP アドレスを設定する必要がありますので、事前にお知らせください。

また、お客さまのプロキシサーバーに TCP/19982、TCP/24556 の転送設定をしていただく必要があります。

1-5. 操作ログの管理

- ・1年間の操作ログデータを保持し、1年以上過去のログは消されます。
ただし1年未満でも下記のログ容量を超える場合は、ログの保存期間が短くなる場合があります。
InfoTrace Agent インストール台数 × 3MByte × 22日間 × 12ヶ月
(例)10クライアントの場合: $10 \times 3 \times 22 \times 12 = 7,920\text{MB}$ までのログを保管
- ・サーバー上のログは二重にバックアップされています。
- ・サービス終了時には、弊社内の全てのデータを削除します。

1-6. お申込内容、サービスの追加・変更・削除について

- ・お申込内容の変更・解約については、お申し込み時にご登録いただいたご連絡担当者様からのみ、受け付けさせていただきます。また、ご登録いただくご担当者様に変更がある場合は、必ずご連絡ください。

1-7. PCの時刻合わせ

- ・操作ログはインストールされているPCに設定されている時刻で記録されます。
そのため、PCの時刻設定が正しい事を定期的にご確認ください。
また、意図してPCの時刻設定を、正しい時間からずらさないようにしてください。

2.制約事項

KB000142 Windows Vista/7/2008 の 64 ビット OS で、クライアント(印刷)サブイベントのプログラム名およびファイル名が正しく記録されない

Windows Vista/7/2008 の 64 ビット OS で、WOW64 上の 32 ビットアプリケーションから印刷すると、クライアント(印刷)サブイベントのプログラム名は「c:¥Windows¥splwow64.exe」、ファイル名は空白で記録されます。

KB001395 ウイルス対策ソフトウェアがインストールされており、かつ UAC が有効に設定されている環境において、ネットワーク上の Agent インストールディスクが正常に実行されないことがある

ウイルス対策ソフトウェアがインストールされており、かつ UAC が有効に設定されている環境において、ネットワーク上の Agent インストールディスクが正常に実行されないことがあります。この場合は、「SolAgt.exe」を右クリックし「管理者として実行」から Agent インストールディスクを実行してください。弊社では以下のウイルス対策ソフトウェアで現象が発生することを確認しています。

- ・ノートン 360 v5.0

KB001382 Agent のインストールを実行中に、ウイルス対策ソフトウェアがプログラムの信頼性を確認するメッセージを表示することがある

Agent のインストールを実行中に、ウイルス対策ソフトウェアがプログラムの信頼性を確認するメッセージを表示することがあります。この場合は、プログラムを許可してインストールを続行してください。リモートアップデート時などメッセージが表示されないこともありますので、各環境にて動作確認をした上で Agent のインストールを実行するようにしてください。弊社では以下のウイルス対策ソフトウェアで現象が発生することを確認しています。

- ・エフセキュア アンチウイルス ワークステーション 9.20(ディープガード機能)

KB001406 Agent のインストール先フォルダに 110 文字以上のフォルダパスを指定した場合、Agent のインストールまたはアンインストールに失敗することがある

Soliton Smart Security Agent のインストール先フォルダに 110 文字以上のフォルダパスを指定した場合、Agent のインストールまたはアンインストールに失敗することがあります。

KB001556 互換モードでの使用はサポート対象外

互換モードを設定しないようにしてください。
サポート対象の OS では、互換モードを使用しない状態で動作を保証します。
互換モードを設定した場合は、以下のような現象が発生します。

- ・起動しない、起動しても正しく動作しない
- ・Agent のインストール・アンインストールに失敗する

KB001516 Agent インストール時にセットアップウィザードが応答なしになる場合がある

Soliton Smart Security Agent のインストール時に、セットアップウィザードが「応答なし」になることがあります。
セットアップ自体は問題なく行われていますので、セットアップ完了までお待ちください。

KB001531 UAC 環境での Agent インストール/アップデート時、OS 再起動後にユーザーアカウント制御の画面が表示される場合がある

UAC 環境での Agent のインストール/アップデート時、セットアップ後に OS を再起動した際に、ユーザーアカウント制御の画面が表示される場合があります。
OS 再起動後もセットアップが実行されているため、管理者権限に昇格する必要があります。

KB001582 Agent アンインストールの再起動要求後、まれに一部ファイルが残る場合がある

Soliton Smart Security Agent のアンインストール時に再起動要求が行われる場合、まれに一部ファイルが削除されずに残る場合があります

KB001635 64 ビット OS 環境で、Agent セットアップ時のエラーログが出力されない場合がある

Agent セットアップ時、インストール先フォルダが作成できなかったり再頒布モジュールのインストールに失敗したりしてエラーとなることがありますが、その際、64 ビット OS 環境では、セットアップログが出力されていない場合があります。

このような場合はパスを取得するためのレジストリ値が消えている可能性があります(原因は不明です)。以下のようにレジストリを設定した後、再度 Agent セットアップを実行してください。

キー: HKEY_LOCAL_MACHINE¥Software¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥Explorer¥User Shell Folders

値名: Common AppData

値: %ProgramData%(Windows Vista/7/2008 の場合)

レジストリエディタの使い方を誤ると、深刻な問題が発生することがあります。最悪の場合、OS の再インストールが必要になることがあります。弊社は、レジストリエディタの誤用により発生した問題に関しては、一切責任を負わないものとします。レジストリエディタは自己の責任において使用してください。

KB001728、KB001746、KB001755 Windows ストアアプリの対応

Windows ストアアプリは、サポート対象外となります。

Soliton Smart Security Agent をインストールしたコンピュータで Windows ストアアプリは、通常どおりご使用いただけますが、Soliton Smart Security Agent の各機能が正常に動作することを保証いたしません。

※ストアアプリ: Windows ストアからダウンロード・インストールされた Windows8.1 のモダン UI 上で動作する全画面表示アプリ

KB001707 Agent のインストール時に、「再頒布パッケージのインストール中・・・」の状態エラーになり、インストールが中断する場合がある

Agent のインストール時に、以下のエラーが表示されて、インストールが中断される場合があります。

インストールが中断された場合は、OS を再起動後に、再度インストールを実行してください。

<エラー>

箇所: 再頒布パッケージのインストール中・・・

詳細: Microsoft Visual C++再頒布可能パッケージ(vcredist_x86.exe) のセットアップにて、コンピュータの再起動が必要となりました。

再起動した後、再度セットアップを行ってください。

セットアップを中止します。

※「vcredist_x64.exe」になる場合もあります。

KB001328 シマンテック社の Norton Internet Security 2011 の Web 保護が有効な環境で、タブを複数開いた Internet Explorer を終了するとアプリケーションエラーが発生する

シマンテック社の Norton Internet Security 2011 の Web 保護を有効にした環境で、複数タブを表示した Internet Explorer を終了する際に Internet Explorer のアプリケーションエラーが発生する場合があります。

この問題は InfoTrace Agent がインストールされていない環境でも発生しますが、InfoTrace Agent がインストールされていると発生確率が多少高くなります。

弊社で把握している問題が高確率で発生する条件は以下のとおりです。

・ InfoTrace Agent をインストールしていない環境ではタブを 15 個以上開いている場合

・ InfoTrace Agent をインストールしている環境ではタブを 10 個以上開いている場合

KB001386 OS 起動直後の初回ログオン時に、ログオンサブイベントが記録できないことがある

OS 起動直後の初回ログオン時に、ユーザー情報入力画面表示から数秒以内にログオンが実施された場合、ログオンサブイベントが記録できないことがあります。この場合はログオフ時にログオフサブイベントも記録されません。

弊社では、以下の条件で現象が発生することを確認しています。

・ OS が Windows Vista または Windows Server 2008 (R2 を除く)。

・ ローカルログオンしている。

なお、この問題は 2 回目以降のログオン時には発生しません

KB001239 Internet Explorer にて特定操作後に文字列の貼り付けを行うとクリップボードサブイベントが記録されない

Internet Explorer Version 6 および Version 7 において、1 プロセスで複数サイトを開いている状態(任意のサイト上のリンク先を「新しいウィンドウで開く」で実行した場合など)で、いずれかのウィンドウを閉じると、それ以降 Internet Explorer 上で行われたクリップボードイベントは記録できません。リンク先を開く際に「新しいウィンドウで開く」ではなく「開く」を指定した場合や Internet Explorer を再起動した場合などは、クリップボードイベントは記録されます。

KB001298 Internet Explorer の検索バーに文字列を貼り付けた後にタブを追加すると、クリップボードサブイベントが複数記録される

Internet Explorer 上で文字列のコピーを行った後にタブ上でポップアップメニューを表示し[新しいタブ]を選択すると、このタイミングでクリップボードイベントが記録される場合があります。また、Internet Explorer 上でクリップボードデータの貼り付けを行った後に[新しいタブ]を選択すると、同一内容のクリップボードイベントが重複して記録される場合があります。これらはクリップボードにデータが存在している状態で新しいタブを作成すると、データ参照のために監視 API がコールされる Internet Explorer の仕様によるもので、Internet Explorer Version 8 以降で発生します。

KB001304 Internet Explorer 上の検索ボックスやアドレスバーで末尾に半角スペースを含むデータを貼り付けると、クリップボードサブイベントが 2 レコード記録される場合がある

Internet Explorer 上の検索ボックスやアドレスバーで末尾に半角スペースを含むデータを貼り付けると、クリップボードサブイベントが 2 レコード記録される場合があります。一見重複しているように見えますが、一方のレコードのクリップボードデータには末尾に半角スペースがあり、もう一方はこの半角スペースがなくそれぞれ別のイベントとなります。これは検索ボックスやアドレスバーに貼り付けられたデータの末尾半角スペースを削除するという Internet Explorer の仕様によるもので、弊社では Internet Explorer Version 8 および Version 9 で発生することを確認しています。

KB001340、KB000297、KB000374、KB000377、KB00147、KB000145、KB00076 プリントイベントにファイル名、ドライブの割り当て先、デバイス種類が記録されない場合がある

クライアント(印刷)サブイベントで「ファイル名」「デバイス種類」、デバイス種類がネットワークの場合の「ドライブの割り当て先」が正しく記録できない場合があります。
 ※ファイルの所在や印刷に使用したプロセス、操作手順などの条件に関係なく、クライアント(印刷)サブイベントのファイル名記録精度は完全ではありません。今後、随時改善していく予定です。
 具体的な例は下記のようになります。

▼ 記録ができない

- CD/DVD/BD 上の Excel ファイルを印刷した場合
- リムーバブルディスク上の Visio ファイルを印刷した場合
- ドキュメント名に拡張子の後に半角スペースを含まず、文字列が続く場合

例)PowerPoint 2003 で「サンプル.ppt」ファイルを印刷した場合のドキュメント名
 "Microsoft PowerPoint - サンプル.ppt[読み取り専用]"

- OS 標準のメモ帳/ペイント/ワードパッドファイルを開いて 30 秒以上経過してから印刷した場合

▼ 誤検知する

- 1 プロセスでフォルダが異なる同一ファイル名のファイルを複数開いている場合

例)Microsoft Excel で「C:¥test.xls」と「F:¥dir¥test.xls」を順に開いた場合、
 「F:¥dir¥test.xls」を印刷すると最初に開いた「C:¥test.xls」のファイル名で記録される

KB001346 印刷を行うプロセスとその親プロセスの権限ユーザーが異なる場合は、印刷操作を監視できない場合がある

印刷を行うプロセスとその親プロセスの権限ユーザーが異なる場合は、印刷操作を監視できずプリントイベントが記録できない場合があります。

例)runas コマンドで user に"test"を指定して起動した Microsoft Word から印刷を実行した場合
 この例では Word プロセスのユーザーは"test"ですが、親プロセスは"svchost.exe"となりユーザーが"SYSTEM"になるため、印刷操作を監視できません。

V3.2.7 で一部改善しました。

印刷を行うプロセスとその親プロセスの権限ユーザーが異なる場合でも、プリントイベントを記録するように変更しました。ただし、権限ユーザーが異なる場合は、ファイル名は記録されません。

KB001223 InfoTrace Agent がインストールされていると、アルプス システム インテグレーション社の Intersafe CATS のインストールに失敗する

メールオプション機能が有効な InfoTrace Agent がインストールされている環境に、アルプス システム インテグレーション社の Intersafe CATS をインストールしようするとインストールに失敗します。この場合は、一度 InfoTrace Agent をアンインストールし、Intersafe CATS、InfoTrace Agent の順でインストールしなおしてください。

KB001448 富士通東北システムズ社の DefenseWinPro との共存時、DefenseWinPro の制限ユーザーでログオンするとブルースクリーンが表示される

富士通東北システムズ社の DefenseWinPro と InfoTrace Agent が共存している場合、DefenseWinPro の制限ユーザーでログオンすると、ブルースクリーンが表示されます。

この問題を回避するには、DefenseWinPro の修正モジュールの適用が必要です。詳しくは、富士通東北システムズ社にお問い合わせください。

なお、InfoTrace Agent 側でできる回避手段としては、プリントイベント監視の設定を無効にしたインストールディスクを作成し、Agent に適用する方法があります。

KB001504 avast!との共存時、Internet Explorer でサイト閲覧ができなくなる場合がある

avast! のウェブシールド機能が有効になって InfoTrace Agent が共存している環境では Internet Explorer でのサイト閲覧ができなくなります。

KB001728、KB001746 Windows8.1 の制約事項

Windows8.1 では、以下の制約があります。

Windows8.1 に Info Trace Agent をインストールした場合

クライアント(印刷)

・ファイル名が記録できない場合があります。

この場合、デバイス種類やドライブの割り当て先も記録されません。

・印刷元プロセスが splwow64.exe になる場合があります。

この場合、印刷ドキュメント名が「UNKNOWN」になり、ファイル名も記録されないことがあります。

アクティブウインドウ

・64 ビット OS 上の Internet Explorer のアクティブウインドウサブイベントに記録されるプログラム名が x86 プロセスのフルパスになる場合があります。

これは、実際に移動している iexplore.exe のパスを正しく記録した結果ですので、動作に影響はありません

KB001738 Windows8.1 からの同一コンピュータ上でのファイルのコピーはコピーサブイベントが記録されない

Windows8.1 から同一ファイルサーバー上にあるフォルダ間でファイルのコピーを行っても

コピーイベントは記録されません。

異なるコンピュータへファイルをコピーした場合は、コピーサブイベントは記録されます。

KB001759 ファイルを開くアプリケーションによってアクセスサブイベントが記録されない場合がある

ファイルのアクセス方法が通常のアプリケーションと異なるアプリケーションでは、アクセスサブイベントが記録されない場合があります。

弊社では、以下のアプリケーションでアクセスサブイベントが記録されない場合があることを確認しています。

- ・メモ帳
- ・ペイント

KB001795 Windows ターミナルサービスの RemoteApp 機能を使用すると、クライアント(印刷)サブイベントでファイル名が記録されない

以下の場合、アプリケーションからの印刷操作時のクライアント(印刷)サブイベントで、ファイル名が記録されません。

- ・Windows ターミナルサービス環境で、RemoteApp 機能を使用してアプリケーションを起動した場合

この制約は、InfoTrace の V3.2.2 以降のバージョンに該当します。

3.注意事項

KB001293 OS のシャットダウン時に送信対象となるログレコードについて

シャットダウン時のログ送信動作はスプールしているすべての情報を送りきることを保証するものではありません。
OS のシャットダウン時には、シャットダウン開始より前の送信タイミングで送信できなかったログレコードが送信対象となります。このとき、前回の送信タイミング以降でシャットダウン開始までに記録されたログレコードは送信対象に含まれません。

KB001308 偽装ログオンによるWindows ユーザー名の誤認動作について

OS 起動後の初回Windows ログオン前に偽装ログオンが実行されていた場合、偽装時と違うユーザーでWindowsへログオンしてから記録されたログの「Windows ユーザー名」が偽装時のユーザー名で記録されてしまう場合があります。
<偽装ログオンの実行パターン例>

- ・タスクの実行タイミングを「スタートアップ」として登録したアプリケーションをRunAs コマンドを使用して実行
- ・サービスプロセス(LocalSystem 権限)からユーザー権限でアプリケーションが実行された場合

(InfoTrace PLUS ではファイル転送スクリプトの実行ユーザーにユーザーアカウントを指定した場合が該当)
このような誤認ログを少なくするためには、偽装ログオンでアプリケーションを実行することは極力控えていただき、偽装ログオンした場合は速やかにOS 再起動していただくことを推奨します。

KB001383 OS のシャットダウン時にSiaMon.exe のアプリケーションエラーが発生することがある

InfoTrace Agent をインストールした環境で、Microsoft Office IME 2007 を使用している場合、OS のシャットダウン時にSiaMon.exe のアプリケーションエラーが発生することがあります。
この問題はOffice IME 2007 の処理が原因で発生するもので、マイクロソフト社から公開されている修正プログラムを適用することで回避できます。
以下のマイクロソフト社のWeb サイトの案内にしたがって修正プログラムを適用してください。
<http://support.microsoft.com/kb/975190/ja>

KB001671 PPP インターフェイスを使用してメール送信を行った場合、メールイベントが監視できない

InfoTrace Agent で使用しているWinPcap のバージョンはV4.1 ですが、このバージョンはEthernet のみをキャプチャ対象とし、PPP インターフェイス通信はモニタできません。
したがって、PPP インターフェイスを使用してメール送信を行った場合、メールイベントは記録できません。
参考) <http://www.winpcap.org/misc/faq.htm#Q-5>
<http://www.winpcap.org/misc/changelog.htm>

KB001748 net use コマンドを使用した場合のファイルイベントには、空で記録される項目がある

管理者権限で起動したコマンドプロンプトを使用して、net use コマンドでネットワークドライブの割り当てを行った場合それ以降、そのネットワークドライブ上のファイルに対するファイルイベントには、以下の内容は空で記録されます。

- ・デバイス種類
- ・ドライブの割り当て先
- ・行先デバイス種類
- ・行先ドライブの割り当て先

したがって、ファイルモードを使用している場合は、ログが検索結果に表示されません。

KB001731 Windows8.1 でAgent 終了/起動、電源オフ/オンのログが記録されない

Windows8.1 の機能である、「高速スタートアップを有効にする」機能にチェックが入っている場合シャットダウン操作を実施しても、実際にはOS は終了せず、休止状態になります。また、OS の起動を実行しても休止状態から復帰する処理が動作します。
「高速スタートアップを有効にする」機能が有効な場合、OS のシャットダウンは、「操作中断」、OS の起動は「操作再開」をログとして記録します。
ただし、OS の再起動を行った場合は、「高速スタートアップを有効にする」の有効・無効に関係なく、実際にOS がシャットダウンされ、起動されるので、「電源オフ」「電源オン」イベントが記録されます。

KB001733 使用するプリンタによりプリントイベントの印刷ページ数が「0」で記録される場合がある

プリントスプーラで、ページ数が「N/A」と表示される場合は、「印刷(クライアント)」サブイベントの、印刷ページ数が「0」と記録されます。
弊社では、以下のプリンタを使用した場合に発生することを確認しています。

- ・ Microsoft XPS Document Writer
- ・ SHARP MX-2310F

KB001916 リモートデスクトップ接続でマッピングさせたWindows ポータブル デバイス(WPD)のファイルイベントが記録できない

リモートデスクトップ接続やVMware View のRDP 接続にて、[オプション]-[ローカル リソース]-[ローカル デバイスとリソース]-[その他のサポートされているプラグ アンド プレイ(PnP)デバイス]をチェックした状態で接続した場合、ホストコンピュータに接続されたWindows ポータブル デバイスをリモート側でも認識させることができますが、このデバイスに対するファイルイベントを記録することはできません。※ここでは、リモートデスクトップ接続などの接続元のコンピュータを「ホストコンピュータ」、接続先のコンピュータを「リモート側」と表現しています。

4.改善項目

最新バージョンでは、下記の項目が改善されています。

各端末のバージョンの確認方法は、InfoTrace-OnDemand のレポート画面で、
[PC 稼働状況]-[全体の稼働状況]を表示し、「バージョン」欄を確認してください。

詳細は、InfoTrace-OnDemand の「Web レポート操作マニュアル」の「4. PC 稼働状況」をご覧ください。

KB001595 Agent インストール時の空き容量チェックが正しく動作しない場合がある

Soliton Smart Security Agent インストール時に、空き容量チェックが正しく動作しない場合がある問題を修正しました。

KB001418 Agent インストール時に、VC++ ランタイムライブラリのインストールに失敗することがある

Soliton Smart Security Agent のインストール時に、VC++ ランタイムライブラリ(vcredist_x86.exe)のインストールに失敗することがある問題を修正しました。

KB001530 Agent アンインストール時に InfoTrace Agent のサービスが削除されずに残る

InfoTrace Agent を含む Soliton Smart Security Agent のアンインストール時、InfoTrace Agent のサービス停止チェックの不足により、InfoTrace Agent だけが削除されずに残ってしまう問題を修正しました。
なお、この現象が発生してしまうと、次回インストールに失敗します。
この問題は、InfoTrace PLUS V3.2.4 以前のすべてのバージョンで発生する可能性があります。

KB000583 Soliton Smart Security Agent のアンインストールをキャンセルすると、別のユーザーで Agent のアンインストールが実行できなくなる

ユーザーアカウント制御(UAC)が有効な場合、Soliton Smart Security Agent のアンインストールをキャンセルすると、別のユーザーでは以下のメッセージが表示されて Agent のアンインストールが実行できなくなる問題を修正しました。
「テンポラリフォルダへのセットアップファイルのコピーに失敗しました。(ファイルコピー(sssetup.exe)に失敗しました)。セットアップを中止します。」

KB001230 Windows ログオン時に、SSSAgtUI.exe のアプリケーションエラーが発生することがある

Windows へのログオン時に、SSSAgtUI.exe のアプリケーションエラーが発生することがある問題を修正しました。

KB001607 V3.2.x から V3.2.5 以降への Agent アップデート時、Agent インストールサブイベントのインストールの種類が「上書きインストール」で記録されてしまう

V3.2.x の InfoTrace Agent を V3.2.5 以降へアップデートする際、Agent インストールサブイベントのインストールの種類が、「アップデート」ではなく「上書きインストール」で記録されてしまう問題を修正しました。
この制約は、V3.2.5 以降へのアップデート時にのみ該当していました。

KB001622 クリップボード監視を有効にした InfoTrace Agent 環境で、ジャストシステム社の花子を使用したコピー&ペースト処理が失敗する

クリップボード監視を有効にした InfoTrace Agent 環境で、ジャストシステム社の花子を使用したコピー&ペースト処理が失敗してしまう問題を修正しました。
弊社では、花子 2006 および花子 2012 で、この現象が発生することを確認しています。

KB001689 プリントイベント監視を有効にした InfoTrace Agent で、Access2010 からネットワーク上へ XLS 形式のエクспортや、ネットワーク上のインポートの処理に時間がかかる問題を修正しました。

プリントイベント監視を有効にした InfoTrace Agent で、Access2010 からネットワーク上へ XLS 形式のエクспортを行うまたは、ネットワーク上のファイルからインポートを行う場合に処理時間がかかる問題を修正しました。

KB001705 プリントイベント監視を有効にした InfoTrace Agent と WZ ソフトウェア社の WZ EDITOR V6.0 を共存させると WZ EDITOR V6.0 の起動を妨げてしまう

プリントイベント監視を有効にした InfoTrace Agent と WZ ソフトウェア社の WZ EDITOR V6.0 を共存させると WZ EDITOR V6.0 の起動を妨げてしまう問題を修正しました。

KB001706 弊社 SmartOn/SmartOn NEO/SmartOn ID と共存した場合、ログオン・ログオフイベントが正常に記録されない場合がある

弊社 SmartOn V1.x/SmartOn NEO V2.x/SmartOn ID V2.x のクライアントと Info Trace Agent が共存した場合、ログオン・ログオフイベントが正常に記録されない場合がある問題を修正しました

KB001700 InfoTrace Agent の起動直後のログがまれに欠損する場合がある

InfoTrace Agent の起動直後に記録すべきログが、まれに欠損する場合がある問題を修正しました。
 起動直後に欠損する可能性があったログは、

- ・ [デスクトップ]-[電源オン]サブイベント
- ・ [InfoTrace]-[Agent 起動]サブイベント

などがありました。

KB001727 スリープなどから復旧した場合に、一部監視機能が正常に動作しない場合がある

スリープ、休止、またはスタンバイ状態から復帰後に、以下の監視機能が正常に動作しないため、イベントが記録できない場合がある問題を修正しました。

KB001346 印刷を行うプロセスとその親プロセスの権限ユーザーが異なる場合は、印刷操作を監視できない場合がある

印刷を行うプロセスとその親プロセスの権限ユーザーが異なる場合は、印刷操作を監視できずプリントイベントが記録できない場合があります。

例)runas コマンドで user に"test"を指定して起動した Microsoft Word から印刷を実行した場合
 この例では Word プロセスのユーザーは"test"ですが、親プロセスは"svchost.exe"となりユーザーが
 "SYSTEM"になるため、印刷操作を監視できません。

上記制約内容から一部改善しました。

印刷を行うプロセスとその親プロセスの権限ユーザーが異なる場合でも、プリントイベントを記録するように変更しました。ただし、権限ユーザーが異なる場合は、ファイル名は記録されません。

KB001750 RemoteApp プログラム操作時に記録されるファイルイベントのリモート情報が記録されない場合がある

ターミナル サービス RemoteApp (TS RemoteApp) を使用し、記録された以下のイベントで、セッション情報が正しく記録されない場合がある問題を修正しました。

- ・ ファイルイベント
 - アクセス
 - コピー
 - 名前変更
 - 削除
- ・ アプリケーション
 - 実行

KB001598 Windows Vista 以降の OS でクリップボード監視を有効にしていると、プリンタの設定変更失敗する場合がある

Windows Vista 以降の OS にクリップボード監視が有効な V3.0.0 以降の InfoTrace Agent をインストールしていると、プリンタのプロパティでの設定変更失敗する場合がある問題を修正しました。

弊社では、以下のプリンタでこの現象が発生していたことを確認しています。

- ・ 富士ゼロックス社
- ・ DocuCentre IV C6680
- ・ DocuCentre IV C5575
- ・ DocuCentre IV C7780

KB001618 ユーザープロファイルに関連したフォルダのリダイレクト先をネットワーク指定していると、ファイルイベントの監視ゾーンが正しく設定できない

ユーザープロファイルに関連した以下のフォルダのリダイレクト先をネットワーク指定していると、ファイルイベントの監視ゾーン設定が正しくできず、除外イベントが記録されてしまったり、監視すべきイベントが記録できなかったりする問題を修正しました。

- ・ <MYDOCUMENT>
- ・ <MYPICTURES>
- ・ <MYMUSIC>
- ・ <DESKTOP>
- ・ <CDBURNING>
- ・ <DOWNLOADS>(Windows Vista 以降)

KB001633 Windows 7 以降の環境で、エクスプローラで任意のフォルダを開くと、アクティブウィンドウサブイベントがフォルダ名とフォルダパスの 2 レコード記録される

Windows 7 以降の環境において、エクスプローラで任意のフォルダを開く操作をした場合、アクティブウィンドウサブイベントのウィンドウタイトル情報が、それぞれフォルダ名とフォルダパスの 2 レコード記録される問題を修正しました。

この修正により、エクスプローラのアクティブウィンドウサブイベントは、ウィンドウタイトルにフォルダパスを記録するようにしました。

KB001662 プリントイベント監視が有効な InfoTrace Agent と PowerPivot の共存時、PowerPivot を使用すると正常な操作ができなくなる

プリントイベント監視が有効な InfoTrace Agent がインストールされた環境に PowerPivot をインストールした場合、PowerPivot を使用すると、エラーメッセージが表示されて正常な操作ができなくなる問題を修正しました。
この問題は、V3.2.2 以降の InfoTrace Agent がインストールされた環境で発生していました

KB001621 LogAgent でスプールされるログレコードのヘッダー部分が破損してしまった場合、アプリケーションエラーが多発し、破損したレコードの後続がローカルディスク上に滞留してしまう

LogServer に送信する前に一時的にスプールされるログレコードのヘッダー部分が破損してしまった場合、以下の現象が発生してしまう問題を修正しました。

- ・「Soliton Smart Security LogAgent」でアプリケーションエラーが多発する
- ・破損したレコードの後続が送信できず、ローカルディスク上に滞留してしまう

この問題は、InfoTrace V3.0.0 以降で発生していました。

ただし、ヘッダー部分には複数の情報が管理されており、破損してしまったものは LogServer でも解析できない可能性があるため、LogServer には送信されず、「Soliton Smart Security LogAgent」のシステム動作ログに退避されます。

ログの退避先は、以下のとおりです。

<Windows Server 2003 の場合>

C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\Soliton Systems\Soliton Smart Security\LogAgent
¥elogs

<Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7 の場合>

C:\ProgramData\Soliton Systems\Soliton Smart Security\LogAgent¥elogs

KB001665 エクスプローラ操作時のファイルイベントにセッション情報が記録されない場合がある

エクスプローラによるファイル操作時に記録されるファイルイベントで、以下のセッション情報が記録されない場合がある問題を修正しました。

- ・ Windows ユーザー名
- ・ ユーザードメイン名
- ・ リモートコンソールコンピュータ名
- ・ リモートコンソール IP アドレス

この問題は、V3.2.5 の InfoTrace Agent がインストールされている環境でのみ発生する場合があります。

KB001449 WinPcap のインストールに失敗し、メールイベントおよび共有フォルダの監視ができない場合がある

InfoTrace Agent をインストールした場合、監視に必要な WinPcap のインストールに失敗し、メールイベントおよび共有フォルダの監視ができないことがある問題を修正しました。

KB001470 V3.2.x からのアップデート時、InfoTrace Agent のサービスが一旦停止してしまう

InfoTrace Agent の V3.2.x からのアップデート時、InfoTrace Agent のサービスが一旦停止してしまう問題がありました。

リビジョンアップ時は、サービスを停止せずにアップデートするようにしました。

なお、V3.0.x からのアップデート時は、サービスが停止する仕様となります。

KB001540 SiaAgt.exe のアプリケーションエラーが発生する場合がある

不定のタイミングで InfoTrace Agent (SiaAgt.exe/SiaAgt64.exe) のアプリケーションエラーが発生する場合がある問題を修正しました。

この問題は、InfoTrace Agent V3.0.x～V3.2.4 で発生する可能性があります。

KB001456 シャットダウン時のログオフで SiaMon.exe のアプリケーションエラーが発生しログオフがキャンセルされてしまう場合がある

シャットダウン時のログオフで、InfoTrace Agent (SiaMon.exe/SiaMon64.exe) のアプリケーションエラーが発生し、ログオフがキャンセルされてしまう場合がある問題を修正しました。

KB001548 IP アドレス 1 の情報が取得できない状態のログレコードが invalid フォルダに保存される

InfoTrace Agent をインストールしたコンピュータの OS に異常(OS を構成するためのプログラムのエラー等)が発生した状態で記録した、IP アドレス 1 の情報が取得できない(MAC アドレス 1 は取得できている)状態のログレコードが、invalid フォルダに保存されてしまう問題を修正しました。

上記のような状態の場合、IP アドレス 1 に「0.0.0.1」の情報を LogServer で補完することで格納できるようにしました。

なお、IP アドレス 1 に「0.0.0.1」が記録される現象が発生した場合は、InfoTrace Agent をインストールしたコンピュータの OS に異常が発生している可能性がありますので、OS の再インストール等の対応を行うことを推奨します。

KB001458 印刷ドキュメント名に「NULL」を指定するアプリケーションから印刷できない

印刷ドキュメント名に「NULL」を指定するアプリケーションから印刷を行うと、アプリケーションエラーが発生して印刷できない問題を修正しました。
 この問題は、印刷ドキュメント名が空になる印刷操作時に発生していました。
 OS に標準インストールされているツール(メモ帳やペイントなど)や Microsoft Office 製品を使用して印刷操作を行った場合などのように、印刷ドキュメント名が空でない場合は、この問題は発生しません。

KB001455 Microsoft Office 製品の「名前をつけて保存」のアクティブウィンドウサブイベントが記録されない

Microsoft Office 製品を操作した際の「名前をつけて保存」のウィンドウタイトルが、アクティブウィンドウサブイベントとして記録されない問題を修正しました。
 この問題は、InfoTrace Agent V3.2.2 / V3.2.3 / V3.2.4 で発生していました。

KB001499 プリントイベント監視が有効な InfoTrace Agent と Notes Client の共存時、notes2.exe のアプリケーションエラーが発生する

プリントイベント監視が有効な InfoTrace Agent と Notes Client が共存すると、Notes Client(notes2.exe) のアプリケーションエラーが発生する問題を修正しました。
 弊社で確認した内容は、以下のとおりです。
 ・ エラー発生タイミング: Notes Client 起動時、または、画面操作時など不定
 ・ Notes Client バージョン: Notes 8.5.1 (FP なし) 以降
 この問題は、InfoTrace V3.2.2 以降で発生していました。

KB001528 プリントイベント監視を有効にすると、ログオンユーザー権限で動作するプロセスが応答なしになる場合がある

プリントイベント監視を有効にした InfoTrace Agent をインストールすると、ログオンユーザー権限で動作するプロセスが応答なしになる場合がある問題を修正しました。
 弊社では、以下のプロセスでこの現象が発生していたことを確認しています。
 ・ rasphone.exe(OS 標準でインストールされているプロセスです。)

KB001541 プリントイベント監視を有効にしていると、ネットワーク関連ソフトウェア(ifrmewrk.exe)が正常に動作しない

InfoTrace Agent をインストールしていると、ifrmewrk.exe の挙動を妨げてしまい、無線 LAN 接続の ON/OFF 機能が正常に動作しない問題を修正しました。
 ※ifrmewrk.exe は、Intel PRO/Set Wireless など、ワイヤレスネットワーク関連のソフトウェアです。

KB001539 InfoTrace V3.2.0/V3.2.1 の Agent とノベル社のフィルタドライバ「NCFilter.sys」との共存環境で、共有フォルダへのアクセス発生時にブルースクリーンが表示される

InfoTrace V3.2.0/V3.2.1 の Agent とノベル社のフィルタドライバ「NCFilter.sys」が共存している環境で、他のコンピュータの共有フォルダへのアクセスが発生すると、ブルースクリーンが表示される問題を修正しました。この問題は、InfoTrace V3.2.2 以降で改善されています。

KB001542 WebDAV を使用している環境で、共有フォルダへのアクセス発生時にブルースクリーンが表示される

WebDAV を使用している環境で、共有フォルダへのアクセスが発生すると、ブルースクリーンが表示される問題を修正しました。
 この問題は、InfoTrace V3.2.2 以降で改善されています。

KB001589 アルプス システム インテグレーション社の Intersafe CATS との共存時、InfoTrace PLUS のログがサーバーに送信できない

アルプス システム インテグレーション社の Intersafe CATS と、メールオプション機能が有効になっている InfoTrace Agent が共存している場合、InfoTrace PLUS (InfoTrace Agent/SmartOn) のログがサーバーに送信できず、滞留してしまう問題を修正しました。

KB001421 アクティブウィンドウイベント監視を有効にすると、画面表示に失敗するプロセスがある

アクティブウィンドウイベント監視を有効にすると、画面表示に失敗するプロセスがある問題を修正しました。
 弊社では、以下のプロセスで、この現象が発生していたことを確認しています。
 ・ Adobe Creative Suite 4 Production Premium
 ・ Citrix Online Plug-in

KB001291 アクティブウィンドウ監視が有効な環境で Internet Explorer の起動と終了を繰り返すと、SiaMon.exe のアプリケーションエラーが発生することがある

アクティブウィンドウイベント監視が有効な環境で Internet Explorer の起動と終了を繰り返すと、SiaMon.exe のアプリケーションエラーが発生することがある問題を修正しました。

KB001325 InfoTrace Agent がインストールされている環境で OS の動作が遅くなる場合がある

InfoTrace Agent がインストールされている環境において、以下の問題を修正しました。

- ・ 稼働プロセスのトータル数が多い場合、デスクトップアプリケーションの起動が遅くなる。
- ・ プロセス動作中にスレッド数の変動が頻繁に発生する場合、プロセスの動作が緩慢になる。

KB001412 InfoTrace Agent をインストールした Windows 7 にて、エクスペリエンス インデックスの評価に失敗する

InfoTrace Agent をインストールした Windows 7 で、エクスペリエンス インデックスの評価を実行しても

エラーが発生して評価をすることができない問題を修正しました。

Windows エクスペリエンス インデックス (WinSAT.exe) 側の問題によって発生していましたが、InfoTraceAgent 側で回避するように修正しました。

この問題は、InfoTrace V3.2.1 以前のすべてのバージョンで発生します。

KB001205 Microsoft SQL Server 2005 にて DB へアクセスすると、イベントログに SQL Server のエラーが記録される

InfoTrace Agent をインストールしたコンピュータ上で、SQL Server 2005 の DB 内のデータ更新を行った場合に

イベントログのアプリケーションイベントログに SQL Server のエラーが記録される問題を修正しました。

この問題は、SQL Server 2005 の問題によって発生していましたが、InfoTrace Agent 側で回避するように修正しました。詳細については、以下のマイクロソフト社の Web サイトを参照してください。

You may receive a "FCB::RemoveAlternateStreams: Operating system error <error number>" when starting up databases on an instance of SQL Server 2005 or SQL Server 2008

<http://support.microsoft.com/kb/970878>

KB000430 ファイルの選択画面上でファイルのコピーおよび貼り付けを行っても、クリップボードサブイベントは記録されない

エクスプローラ以外のアプリケーションで、メニューの[ファイル]-[開く]をクリックするなどして表示したファイルの

選択画面上で、ファイルのコピーおよび貼り付けを行っても、クリップボードサブイベントが記録されない問題を

修正しました。

KB001326 Internet Explorer Version 8 以降で文字列の貼り付けを行ってもクリップボードサブイベントが記録できない

Internet Explorer Version 8 以降でアドレスバーや検索ボックスに文字列を貼り付けてもクリップボードサブイベントが

記録できない問題を修正しました。

KB000217、KB000218 「簡易ユーザー切り替え」の機能を使用しているときの操作中断および再開サブイベントが、正しく記録されない場合がある

「簡易ユーザー切り替え」の機能を使用しているときの操作中断および再開サブイベントが、正しく記録されない場合がある問題を修正しました。

KB001350 電源オンサブイベントのイベント日時が設定されずログの格納に失敗することがある

電源オンサブイベントのイベント日時が設定されないためにログの格納に失敗し、電源オンサブイベントのログを検索することができないことがある問題を修正しました。

KB001223 アルプス システム インテグレーション社の Intersafe CATS との共存時、Intersafe CATS の LSP が正しく動作しない場合がある

アルプス システム インテグレーション社の Intersafe CATS と InfoTrace Agent が共存している場合、

Intersafe CATS の LSP が正しく動作しなくなる問題を修正しました。

なお、インストールする順序については制約事項があります。詳細については、2.制約事項 (KB001223) を参照してください。

KB001224 InfoTrace Agent のアンインストール実行中に大量のログが出力されアンインストール終了までに 1 時間程度かかることがある

InfoTrace Agent のアンインストール実行中に大量の Agent 終了サブイベント、Agent アンインストール

サブイベントが重複して出力されてしまうことがある問題を修正しました。

KB001780 msi ファイルのインストールに失敗してしまう

Windows8 64 ビット版および Windows Server 2012 のプリントイベント監視が有効な InfoTrace Agent が

インストールされた環境で、msi ファイルのインストーラを実行すると、msiexec.exe のアプリケーションエラーが

発生し、インストールに失敗してしまう問題を修正しました。

KB001735 Adobe Acrobat V11、または Adobe Reader V11 でサンドボックスによる保護を有効にすると、印刷時にフリーズしてしまう

プリントイベント監視を有効にした環境で、アドビシステムズ社の Adobe Acrobat、または Adobe Reader V11 (サンドボックス保護が有効) を使用して、印刷を行うと以下の現象が発生してしまう問題を修正しました。

- ・ Adobe Acrobat または Adobe Reader が応答しなくなる場合がある
- ・ 印刷完了までに時間がかかる場合がある

KB001833 Agent インストーラの動作中にログオフ・シャットダウン・再起動ができてしまう

Soliton Smart Security Agent のインストーラの動作中に、ログオフ・シャットダウン・再起動ができてしまう問題を修正しました。

これにより、インストーラ動作中にログオフ・シャットダウン・再起動を実行することで稼動状況とレジストリ情報が不整合となり、次回以降、アップデートやアンインストールの処理に失敗することを防ぐことができます。

- ・ サイレントモードと通常 (画面表示) モードの両方に対応しています。
- ・ Windows Vista 以降の OS では、シャットダウン画面上にインストーラが動作中である旨のメッセージが表示されます。〈キャンセル〉ボタンをクリックし、インストーラが完了するまでログオフ・シャットダウン・再起動は控えてください。

KB001834 Agent の再インストール/アップデートに失敗する

一部のレジストリ情報が残存することで、Soliton Smart Security Agent の再インストール/アップデートに失敗する問題を修正しました。

KB001728 Internet Explorer 10 からの印刷操作は監視できない

Internet Explorer 10 の [インターネットオプション]-[詳細設定]-[拡張保護モード] を有効にした場合は、Internet Explorer からの印刷操作を監視できない問題を修正しました。

KB001783 OS 起動後の初回ログオン時に、InfoTrace Agent サービスでアプリケーションエラーが発生する場合がある

OS 起動後の初回ログオン時に、以下の InfoTrace Agent サービスでアプリケーションエラーが発生する場合がある問題を修正しました。

サービス名 : Soliton InfoTrace Agent
プロセス名 : (32 ビット OS の場合) SiaAgt.exe
(64 ビット OS の場合) SiaAgt64.exe
この問題は、V3.2.2 以降で発生する場合がありますでしたが、V3.2.7 以降で改善されています。

KB001787 クリップボード監視が有効な場合、画像貼り付け時にアプリケーションエラーが発生する場合がある

クリップボード監視を有効にした InfoTrace Agent V3.0.x / V3.2.x がインストールされていると、画像貼り付け先のアプリケーションでエラーが発生する場合がある問題を修正しました。

弊社では、Windows 7 環境で Office 2010 および Office 2013 の Excel に画像を貼り付けする際に、この現象が発生していたことを確認しています。

KB001788 クリップボード監視が有効な場合、InstallShield で作成されたインストーラによるセットアップに失敗する

クリップボード監視を有効にした InfoTrace Agent V3.0.x / V3.2.x がインストールされていると、InstallShield で作成されたインストーラ (InstallShield Engine: IKernel.exe を使用するもの) によるソフトウェアのセットアップに失敗する問題を修正しました。

弊社では、Windows 7 環境でこの現象が発生していたことを確認しています。

KB001838 メールオプション機能が有効な InfoTrace Agent がインストールされていると、ネットワーク通信時にアプリケーションエラーが発生する

メールオプション機能が有効な InfoTrace Agent がインストールされていると、ネットワーク通信を行うプロセスに影響を及ぼし、アプリケーションエラーが発生する問題を修正しました。

弊社では、以下のアプリケーションで、この現象が発生していたことを確認しています。

製品名 : WebSAM iStorageManager
サービス名 : iStorageManager

KB001898 OS 起動時に SSSAgt.exe のアプリケーションエラーが発生することがある

OS 起動時に SSSAgt.exe のアプリケーションエラーが発生することがある問題を修正しました。

KB001516 Agent インストール動作中にセットアップウィザードが応答なしになる場合がある

Soliton Smart Security Agent のインストール時(アップデート/アンインストールを含む)に、セットアップウィザードが「応答なし」になる問題を修正しました。

KB001950 アップデート実行中に Soliton Smart Security Agent サービスが削除されてしまうことがある

登録されていた Soliton Smart Security Agent のサービスが、Agent のアップデート実行中に削除されてしまうことがある問題を修正しました。

KB001870 メールオプション機能が有効に設定されていてもメールイベントが記録できないことがある

メールオプション機能が有効な InfoTrace Agent がインストールされている環境で、メールイベントが記録できないことがある問題を修正しました。

この問題は特別な操作を行わなくても発生することがあり、発生した場合は、OS の起動直後からシャットダウンまでのメール操作に対して、まったくイベントが記録できなくなることを確認しています。

KB001871 プリントイベント監視が有効な InfoTrace Agent がインストールされている環境で Adobe Reader を起動しても画面が表示されない場合がある

プリントイベント監視が有効な InfoTrace Agent が稼動していると、サンドボックス保護が有効な Adobe Reader(※1)を起動しても画面が表示されない問題を修正しました。

※1 サンドボックス保護設定については、Adobe Reader のメニューにある[編集]-[環境設定]で表示される画面にて、分類「セキュリティ(拡張)」から確認することができます。

この設定は、デフォルトで「起動時に保護モードを有効にする」がチェックされています。

この問題は、V3.2.9 の InfoTrace Agent がインストールされた環境で発生していました。

弊社では、Adobe Reader V11.0.7 以降の環境でこの現象が発生していたことを確認しています。

KB001893 「ドライブパスを割り当てない」ボリュームが存在すると、[Windows]+[E]キーを押しての画面表示に時間がかかる

「ドライブパスを割り当てない」ボリュームが存在する環境において、[Windows]+[E]キーを押してエクスプローラを表示しようとする時、通常よりも時間がかかる(数十秒程度)ことがある問題を修正しました。

弊社では、以下の条件すべてにあてはまる場合にこの現象が発生していたことを確認しています。

- ・ ドライブ文字を割り当てていないボリュームが存在する。
- ・ ドライブ文字を割り当てたネットワークドライブが存在する。
- ・ ネットワークが不通状態のため、ネットワークドライブにアクセスできない状態になっている。

KB001895 Windows 8 以降の環境で、InfoTrace Agent をインストールすると OS の動作が不安定になることがある

Windows 8 以降の環境で、InfoTrace Agent をインストールすると OS の動作が不安定になることがある問題を修正しました。

KB001896 32 ビット版の OS 環境にて、大量のファイルイベントが発生するとアプリケーションエラーが発生する

32 ビット版の OS 環境にて、大量のファイルイベントが発生した際にリソースが枯渇し、InfoTrace Agent サービスが異常終了する問題を修正しました。

KB001910 コンピュータと Windows ポータブル デバイス(WPD)間で記録されるファイルイベントに関する制約事項

コンピュータと Windows ポータブル デバイス間で記録されるファイルイベントに関する制約を、以下のとおり一部改善しました。

記録されるログ

- ・ デバイス種類、および行先デバイス種類が空で記録される

デバイス種類、および行先デバイス種類が「WPD」と記録されるようにしました。

- ・ ファイル名、および行先ファイル名は、フルパスではなくエクスプローラ上に表示されるファイル名で記録される
 - ・ ファイル名、および行先ファイル名が、マウントされたデバイス名をルートとしてフルパスで記録されるようにしました。
 - ・ Android 端末上にあるファイルを含むフォルダを削除すると、フォルダに対する削除サブイベントのみが記録される
- Android 端末上にあるファイルを含むフォルダを削除した場合、フォルダ内のファイルを対象として削除サブイベントが記録されるようにしました。

KB001939 メールオプション機能が有効な InfoTrace Agent がインストールされていると、SQL サーバーと通信を行うソフトウェアが正しく動作しない場合がある

メールオプション機能が有効な InfoTrace Agent がインストールされている環境で、SQL サーバーと通信を行うソフトウェアが正しく動作しない場合がある問題を修正しました。

KB001941 スリープなどから復帰した場合、メールオプションイベントが正しく記録されない

スリープ、スタンバイなどのサスペンド状態からの復帰後に発生する、以下の問題を修正しました。

- ・ 記録されたメールオプションイベントで、セッション情報が空で記録される
- ・ メールオプションイベントが記録されない

※Windows 8 以降では、「高速スタートアップを有効にする」機能が有効な場合のシャットダウンからの復帰時も該当します。

KB001946 21 文字以下の UNC パスを指定して共有フォルダ内のファイルにアクセスすると、まれにブルースクリーンが表示される場合がある

InfoTrace Agent をインストールしたクライアントにて、半角および全角で 21 文字以下の UNC パスを指定して共有フォルダ内のファイルにアクセスすると、まれにブルースクリーンが表示される場合がある問題を修正しました。

KB001948 共有フォルダ内のファイルをリモート操作で名前変更または移動すると、行先ファイル名のパスが間違っ

共有フォルダ内のファイルをリモート操作で名前変更または移動すると、ファイルイベントの名前変更サブイベントで、行先ファイル名のパスが間違っ

て記録される問題を修正しました。
なお、この問題は、共有フォルダオプションの名前変更(共有)サブイベントには該当しません。

KB001963 InfoTrace Agent をインストールした環境で Windows BitLocker ドライブ暗号化を稼働させると、ブルースクリーンが表示される場合がある

InfoTrace Agent をインストールした環境で Windows BitLocker ドライブ暗号化を稼働させると、ブルースクリーンが表示される場合がある問題を修正しました。

5.変更項目

KB001708 ユーザーフォルダにインストールされた Agent のアップデートにはアンインストールが必要
V3.2.6 より、Agent のインストール先フォルダにユーザーフォルダを指定できなくなりました (KB001623)。これにともない、旧バージョンからのアップデート時にもデスクトップやマイドキュメントなどのユーザーフォルダに Soliton Smart Security Agent がインストールされていた場合、アップデートができないように変更しました。
ユーザーフォルダに Soliton Smart Security Agent がインストールされていた場合は、Agent をアンインストールした後に、再度、Agent のインストールを行ってください。

KB001623 Agent のインストール先フォルダのチェックを追加
デスクトップやマイドキュメントなどのユーザーフォルダに Soliton Smart Security Agent をインストールできないようにしました。

KB001501 InfoTrace 設定の除外プロセスリストに McAfee VirusScan Enterprise 8.8 のプロセスを追加
Smart Disk Management Console の [InfoTrace 設定]-[ファイルイベント]-[除外プロセス] に、McAfee VirusScan Enterprise 8.8 のプロセスを追加しました。

KB001529 Agent インストール時のサポート OS チェックの追加
サポート対象外である Windows Vista SP1 (32 ビット/64 ビット) に Soliton Smart Security Agent をインストールできないようにしました。

KB001384 InfoTrace 設定の除外プロセスにソフトウェアを追加
Smart Disk Management Console の [InfoTrace 設定]-[ファイルイベント]-[除外プロセス] に、以下のソフトウェアを追加しました。

- ・ TREND MICRO ビジネスセキュリティ 6.0
- ・ ウイルスバスター コーポレートエディション 10.5
- ・ ウイルスバスター 2012 クラウド
- ・ Symantec Endpoint Protection 12
- ・ ノートン インターネットセキュリティ 2012
- ・ ノートン 360 v5.0
- ・ エフセキュア クライアント セキュリティ 9.20
- ・ エフセキュア アンチウイルス ワークステーション 9.20
- ・ マカフィー インターネットセキュリティ 2012

KB000444 アクティブウィンドウサブイベントの対象画面を変更
プロセス名がエクスプローラの場合のみ、画面に表示されないウィンドウのアクティブウィンドウサブイベントは記録しないように動作を変更しました。

KB001837 InfoTrace 設定の除外プロセスにウイルス対策ソフトウェアを追加
Smart Disk Management Console の [InfoTrace 設定]-[ファイルイベント]-[除外プロセス] に、以下の製品プロセスを追加しました。

- ・ ノートン インターネットセキュリティ
- ・ ノートン 360
- ・ ノートン アンチウイルス

Agent ディスクイメージのコピー展開に対応

Agent インストール済みのディスクイメージコピーによる展開に対応しました。
※この「ディスクイメージ」とは OS および Agent をインストールしたハードディスクイメージ等を指します。
V3.2.1 以前では、ディスクイメージコピーによる展開において以下 2 点の問題がありました。

- ・ 展開後に Sysprep を行うと、Agent 内部に保存してあるシステムパスワードが読み取れなくなり、e-Care Manager と通信できなくなる。
- ・ キットアップ段階の Agent が e-Care Manager と通信すると端末管理 ID が割り振られ、その後 Agent をコピー展開すると、すべての Agent が同じ端末管理 ID を持つ状態になってしまう。

これらの問題に対応するために Agent インストール時のオプションとして「キッティングモード」を追加しました。キッティングモードとは、すべての Agent サービスを「停止」の状態で行うモードです。このモードを使用することで、Agent をインストールしてからディスクイメージをコピーして OS を再起動するまで Agent サービスを停止しておくことができるようになり、上記問題も発生しなくなります。キッティングモードによる Agent インストール、および Agent ディスクイメージのコピー展開の方法については、インストール・アンインストールマニュアルを参照してください。

6.新機能

Windows 8.1 環境に対応

Windows 8.1 環境で動作するようにしました。

コンピュータと Windows ポータブル デバイス (WPD) 間のデータ転送を、ファイルイベントとして記録する機能を追加
コンピュータと Windows ポータブル デバイス間で行ったデータ転送を、InfoTrace Agent がファイルイベントとして
記録できるようにしました。

記録されるログ

- ・ デバイス種類、および行先デバイス種類が「WPD」と記録されるようにしました。
- ・ ファイル名、および行先ファイル名が、マウントされたデバイス名をルートとしてフルパスで記録されるようにしました。
- ・ Android 端末上にあるファイルを含むフォルダを削除した場合、フォルダ内のファイルを対象として削除サブイベントが記録されるようにしました。

本書を当社に無断でその一部、あるいはその全部を複写、複製(コピー)、追加、削除、修正、加工および転載することを禁じます。
本書の内容は製品改良等のため、予告なく変更される場合があります。
本書に記載されたデータ等の使用に因る逸失利益、損害等について当社は一切その責任を負いません。
本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。